

2-2. 進級条件・卒業要件、履修上の留意点

進級・卒業するためには、以下の要件をすべて満たさなければなりません。また、該当学年の進級条件を満たすだけでなく、卒業にむけて計画的に履修計画を立てることが大切です。

進級条件・卒業要件、履修上の留意点（2019年度～2022年度入学者用）

		教養系科目			専門科目		公開選択科目	合計
		英語科目	教養科目 (人文・社会・ 自然科学系 スポーツ健康科学系 選択語学系 リテラシー系)	理系教養科目 (数学系・理科系)	自学科 専門科目	他学科 専門科目	※2016年度以降 入学者のみ	
1 年 次	2年への 進級条件	<ul style="list-style-type: none"> 下記のすべての条件を満たすこと。 <ol style="list-style-type: none"> 線形代数学及び演習 I、微分積分学及び演習 I の 2 科目のうち、1 科目以上に合格していること。 プログラミング言語 C (経営)、プログラミング言語 C 演習 (経営)、確率統計 (経営)、計算機実習 A、計算機実習 B、基礎数学の 6 科目のうち、3 科目以上に合格していること。 						
	履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 少なくとも 36 単位以上の修得を目指すこと。 配当年次の必修科目は必ず履修登録し、単位の修得を目指すこと。 						
2 年 次	3年への 進級条件	<ul style="list-style-type: none"> 下記のすべての条件を満たすこと。 <ol style="list-style-type: none"> 線形代数学及び演習 I、微分積分学及び演習 I のすべてに合格していること。 プログラミング言語 C (経営)、プログラミング言語 C 演習 (経営)、確率統計 (経営)、計算機実習 A、計算機実習 B、基礎数学の 6 科目のうち、5 科目以上に合格していること。 数理統計学、オペレーションズリサーチ A、オペレーションズリサーチ B、経営工学計算演習 A、経営工学計算演習 B の 5 科目のうち、2 科目以上に合格していること。 						
	履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 1 年次修得単位と 2 年次修得単位の合計として、少なくとも 72 単位以上を目指すこと。 配当年次の必修科目は必ず履修登録し、単位の修得を目指すこと。 						
3 年 次	4年への 進級条件	8 単位						90 単位 以上
	履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 上記の単位数に加え、下記のすべての条件を満たすこと。 <ol style="list-style-type: none"> プログラミング言語 C (経営)、プログラミング言語 C 演習 (経営)、確率統計 (経営)、計算機実習 A、計算機実習 B、基礎数学のすべてに合格していること。 数理統計学、オペレーションズリサーチ A、オペレーションズリサーチ B、経営工学計算演習 A、経営工学計算演習 B の 5 科目のうち、4 科目以上に合格していること。 経営工学基礎演習、PBL の 2 科目のうち、1 科目以上に合格していること。 1～2 年次修得単位と 3 年次修得単位の合計として、少なくとも 108 単位以上を目指すこと。 配当年次の必修科目は必ず履修登録し、単位の修得を目指すこと。 						
4 年 次	卒業要件	8 単位	12 単位 以上	12 単位以上 (必修 4 単位 を含む)	62 単位以上 (必修 35 単位を含 み、選択必修科目 8 単位以上を含む)			124 単位 以上
		計 32 単位以上			計 80 単位以上		計 12 単位以下	

※ 卒業要件について：教養系科目の合計 32 単位と、専門科目の合計 80 単位の修得だけでは、合算が卒業要件の 124 単位を満たすことができません。したがって、さらに 12 単位分を教養系科目・専門科目・公開選択科目から修得してください。

※ GPA の低い学生には、本人および保証人に対して履修指導を行うことがあります。

※ 選択必修科目（次ページ専門科目一覧参照）は必修科目に準じた重要科目であり、4 科目（8 単位）を必修とします。